

パウチセル用二次真空最終封止機

商品番号: RB38



前書き

自動穿孔機能、調整可能な熱圧着圧力、精密な温度制御、柔軟なセットアップを備えた二次真空最終封止機により、パウチセルの仕上げ工程を改善します。堅牢なチャンバー構造により、信頼性の高いバッテリーパッケージングを実現します。

詳細を学ぶ

用途	説明	主な利点
リチウムイオンパウチセルR & D	関連する内部セルプロセスステップ後の実験用パウチセルに対し、穿孔および二次真空最終封止作業を実行します。	再現性のあるラボ用セル準備のために、制御された最終パッケージ封止ステージを作成します。
バッテリーパイロットライン処理	プロセス開発のために温度、圧力、時間、真空条件の調整が必要な、繰り返しパウチセル仕上げをサポートします。	定義された材料およびプロセス要件に合わせて封止レシピを設定できます。
フォーメーション工程後のパウチ仕上げ	パウチセルをその後の取り扱いや評価に備えるワークフローにおいて、必要な穿孔ステップ後に二次真空最終封止を適用します。	穿孔と最終封止を1つの専用ステーションに統合します。
電極材料評価セル	活物質、バインダー、導電助剤、または電解質関連のセル構成を評価するために使用される、封止済みパウチセルサンプルを作成します。	比較セル構築全体で一貫したパッケージ処理を維持するのに役立ちます。
全固体および次世代バッテリー研究	最終パッケージの閉鎖を制御された真空および熱圧着条件下で行う必要がある、パウチフォーマットの実験用セルをサポートします。	調整可能なプロセス設定により、変化する実験仕様全体にわたる開発作業をサポートします。
学術バッテリー研究室	限られた研究室スペースでパウチセルを製造する研究グループ向けに、コンパクトな装置オプションを提供します。	標準的な220V/50Hz電源と圧縮空気を使用しながら、主要な仕上げ機能を統合します。
パウチパッケージプロセス最適化	規定の動作範囲内で、封止温度、圧力、時間、および封止厚みの均一性の評価を可能にします。	技術チームが最終封止手順を改良するための制御可能な変数を提供します。
小ロットセル製造	最大封止サイズ能力の範囲内にある、異なる製品寸法のパウチバッテリーの小規模生産をサポートします。	便利なフォーマット調整により、複数の対応バッテリー仕様を扱う際の複雑さを軽減します。

パラメーター	RB38仕様
製品機能	パウチバッテリーの穿孔および二次真空最終封止
チャンバー材質	アルミニウム合金
チャンバー特性	耐腐食性、構造的に堅牢
真空度	≤-96Kpa（真空ポンプは購入者側で用意）
封止ヘッド温度	室温～250℃、調整可能
温度制御精度	±1.5℃
熱圧着圧力	0～7Kg/cm2、調整可能

パラメーター	RB38 仕様
熱圧着時間	0～99秒、調整可能
封止エッジ幅	5±0.4mm（顧客要件による）
封止幅の長さ	340mm
最大封止エッジサイズ	310mm
封止厚み範囲	60~300um
封止厚み精度	任意の2点間の封止厚み差 <15um
空気消費量	1回の封止操作につき約0.2Lの圧縮ガス
圧縮空気動作速度	≥180回/時
加熱エレメント	500w加熱チューブ
加熱時の消費電力	約0.6KW
電源	220V/50Hz
圧縮空気源	0.5～0.7Mpa
外形寸法	L600mm*W650mm*H800mm
封止ヘッド材質	銅
上下封止ヘッド駆動	2つのリニアガイドスリーブを介したシリンダー駆動
チャンバーカバー駆動	リニアガイドスリーブを介したシリンダー駆動
穿孔能力	自動穿孔機能
対応製品フォーマット	シンプルで便利な調整により、異なるバッテリー仕様に対応